

日本共産党府会議員



まえくぼ 義由紀

Maekubo Yoshiyuki
です

地元の仕事と雇用を

政府は、景気回復の兆しと言っていますが、サラリーマンの給料や中小企業・業者の仕事、下請け単価の改善につながっていません。9000億円を超える京都府予算での公共事業等が、地元業者に発注され、そこに働く従業員の賃金に反映されてこそ、府民の懐を温め景気回復につながります。



弥陀次郎川決壊で被災した住宅



現在は取り壊され更地になっている

REPORT
議会報告

南部豪雨災害による損害賠償・補償 被災者の生活再建へ 具体策を急げ

南部豪雨災害による損害賠償・補償

昨年8月の南部豪雨災害で、弥陀次郎川が決壊し、大きな被害を与えました。知事は昨年9月議会で、弥陀次郎川決壊による

る被害の損害賠償や補償について、「第三者委員会の原因解明の結果を受けて、最終的に判断をしていく」と答弁しました。設置された「天井川に関する技術検討会」は、当初、弥陀次郎川決壊の原因解明について、昨年秋を目途に行うとしていましたが、遅れています。住宅の再建もできず府営住宅等での暮らしを余儀なくされている世帯もおられます。私は、損害賠償や補償に関わる検討を急ぎ、一日も早く具体案を示すべきと求めました。

REPORT
議会報告

地元業者発注、技術職員の増員で 府民公募型、生活関連公共事業を



山城広域振興局管内の公共事業(24年度当初41箇所約25億円)は、2月補正で27箇所約41億円の大型となりました。この補正と25年度を合わせ14か月予算として執行されることとなります。しかし、南部豪雨災害の復旧等の事業量が膨大になっていくのに山城北土木の河川砂防室の人員は8人です。急ぎよ

4月の人事異動で、山城北土木事務所に土木技師が3人増員されることになりました。

4人の応援体制で対応しているものの追いつかず、土日出勤、残業でしのいでいる状況が続いています。予算がついても人手が足りなくて、府民公募型を含め生活関連公共事業に大きな遅れが出るのではないかと危惧されます。私は、地元業者への発注、土木等技術職員の増員等を強く求めました。

地域活動

許せない 府立宇治公園の桜等の大量伐採

国の宇治川改修工事

国交省は、宇治川の河床掘削、橋島・塔の島の切り下げ工事(2015年度まで)を行っています。

そのために花見シーズンを前に府立宇治公園の桜、松など約100本を伐採しました。宇治公園には桜、松などが352本ありましたが、計画では、そのうち268本を伐採し、改修後は新植を含めても185本とほぼ半減することになります。

宇治公園は、世界遺産の宇治上神社、平等院のバツハゾーンに位置し、特別風致地区指定、重要歴史的景観に選定され、宇治市観光の中心であり、こんなやり方は許せません。府として工事中止と見直しを国に求めよと追及しました。

景観を心配する多くのみなさんと共に現場を調査



桜の木等を伐採し、工事中の府立宇治公園

『太陽が丘』送迎などの 駐車料金が無料に

4月1日から、これまでみなさんと要望してきた『太陽が丘』(山城総合運動公園)の駐車料金(大型1500円、その他400円)が、子どもの送迎などで入園から30分未満で退園される場合は無料になります。